

パブリックコメント「(仮称) 道の駅『いちかわ』の建築物の施設計画(案)」の実施結果

市川市 街づくり部 街づくり推進課 外環道路推進・道の駅担当室

○募集期間：平成26年7月7日(月) ～ 平成26年8月6日(水) 31日間

○意見を提出していただいた方の人数及び延べ件数

・メールフォームによるもの	11人	のべ	40件
・持参提出によるもの	3人	のべ	6件
・FAXによるもの	4人	のべ	20件
・郵送によるもの	1人	のべ	1件
合計	20人	のべ	67件

○意見への対応

①ご意見を踏まえ、案の修正を検討するもの	1件
②今後の参考(一部加筆)とするもの	41件
③ご意見の趣旨や内容を盛り込み済みであるもの	15件
④その他(本案そのものに対するご意見でないもの等)	10件

(1) 建築施設計画についての意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
1	バリアフリーのため主要出入口は自動ドアである必要があると思う。また、メインホールには冬の冷気対策や風雨の吹込みを考えると風除室が必要である。	ご意見を踏まえまして、基本設計に反映させるよう検討していきます。	①
2	管理エリアの面積が視覚的に大きく見え、道の駅施設のスペースを固定し狭く感じさせる。管理エリアは2Fか、図面左側にまとめ、駐車場に面したメインの場所をフレキシブルにし、将来のゾーニングレイアウトの変更に対応できるようにした方が良い。	これから行ないます基本設計業務の中で検討してまいります。	②
3	建設費の抑制だけでなく、維持管理費(ラーニングコスト)を抑える施設であるか検証すべきである。		
4	軒下マルシェの有効面積が小さく、販売スペースとして機能しないのではいか。		
5	施設のデザインがプリズムと決め込んでいるのが不明です。周辺景観との調和を考慮すべきだと思う。回廊により視線が分断され、かつ広場に高木が植栽されることから、建築のシンボル性はあまり有効では無いと思います。		

6	木造建築は建築デザインの可能性を広げると思う。 CLT工法等を用いればメディアにも注目されるのではないか。	基本設計業務で地域振興施設の構造は、鉄骨造として設計しております。	②
7	会議、研修室で催し物（ボロ市、音楽祭など）ができるスペースにしてほしい。	会議室は多目的ホールとしても活用できるように設計しております。	③
8	ホール、カフェ、売店を小分けに分割し過ぎず開放的な大空間のほうが賑わいを創出する。	可動間仕切りにより売店をフレキシブルな形態に設計しております。	③
9	直売所、メインホール、カフェテリアを一体化したほうが良い。		
10	24時間利用可能なトイレを、利用者が認識しやすいよう駐車場に面した場所に必要ではないか。	建築施設内と別棟で24時間利用可能なトイレの設置を検討中です。	③
11	施設全体にソーラーパネルを配置し、売電できるようにすべきである。	施設整備計画で環境、防災に配慮した設備として、太陽光パネルを設置するものとしています。施設の電力をまかなう目的で設置予定です。	③
12	万が一のときを考え、太陽光発電等の自然エネルギーを大いに取り入れてください。		

(2) 外構施設計画についての意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
13	治水対策上、舗装も保水性・浸水性のあるものの利用を進めてください。	水害対策の1つとして今後の設計業務の中で検討してまいります。	②
14	この辺りは北東からの風が強いのですが、北側の植栽が途中までで風除けの手当てがない計画になっているのが気になるところです。	植栽の計画にあたっては防風対策も含めて検討してまいります。	②
15	施設内駐車場へのアクセス道路の拡幅と安全の確保をする。	外環道路利用者の利便性の向上と安全の確保を図れるよう関係機関と調整してまいります。	②
16	市川動植物園の動物が出張できるようなスペースを作ってほしい。	広場では様々なイベントが開催できるスペースを設置し、賑わいのある空間を目指します。ご意見は今後の参考とさせていただきます。	②
17	屋外の広場には自然の森を再現した空間や土のままの広場を作ってほしい。		
18	植栽の一部に姉妹都市ローゼンハイムのバラを植える。	植栽等の計画につきましては、周辺の景観との調和などに配慮しながら樹種の選定と配置を検討して、関係機関との協議の上、詳細を決定していく方針です。	②
19	東京から江戸川を渡るときに市川の緑を賞賛する声が多いため、市川の木であるクロマツの苗を植えてほしい。		

20	芝生広場の植樹にはクロマツを植えてほしい。ガーデンニングシティ市川を印象づけるには、マスコットキャラクターが「クロロ」「バララ」であるように、バラとクロマツが最適であるので実現を図ってほしい。	植栽等の計画につきましては、周辺の景観との調和などに配慮しながら樹種の選定と配置を検討して、関係機関との協議の上、詳細を決定していく方針です。	②
21	国分川調節池の風景とあわせて植栽を考えたほうが良い。クロマツは見通しもよく、防犯上好ましく市川市の木でもあるので最適だと思う。		
22	巨大なハンギングバスケットを設置する。		
23	周辺への高木植栽を積極的に行ってください。高木には騒音を軽減する働きもありますし周辺への配慮にもつながります。		
24	駐車場の廻りに郭沫若邸の庭にある芝桜を植える。		
25	交流の場として足湯を取り入れてほしい。他県他市で導入されているところも多く賑わっている。	現段階では足湯の導入は検討しておりません。広域的な地域間交流を促進できるイベント等の開催で、賑わいを出せるよう検討してまいります。	④

(3) 国分川調節池との関連についての意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
26	国分川調節池との行き来に安全を配慮して歩行者専用の橋を整備してもらいたい。(ベビーカーや車椅子含む)	関係機関と調整・協議の上、検討してまいります。	②
27	調節池全体を見渡せる展望デッキの設置	展望デッキの設置ではなく、地上部分に国分川調節池側を見渡せるウッドデッキの検討をしております。	
28	隣接する国分川調節池で夏に蛍が飛ぶようにし、道の駅との相乗効果を図り憩いの場所にする。	関係機関、関係団体と調整・協議の際にご意見を参考とさせていただきます。	②
29	国分川調節池との連携を考え、調節池の施設運営状況の公開・鯉のぼりフェスティバルとの調整・大雨時の水位の公開・散策コースの説明を道の駅で行ってほしい。		
30	地域興しの為に、隣接する国分川調節池で開催されている鯉のぼりフェスティバルを全国区的な知名度に高めるため、施設での情報発信に工夫してほしい。		

31	隣接する国分川調節池は総合的な治水対策の一環として整備された施設です。昨年大水害もあったので、道の駅に訪れた人が防災はもちろん治水対策を学べる場としてのコンセプトを取り入れてほしい。	関係機関、関係団体と調整・協議の際にご意見を参考とさせていただきます。	②
----	---	-------------------------------------	---

(4) 道の駅の整備方針についての意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
32	市川市では駐車場緑化助成制度を実施しています。その見本となる駐車場スペースにしていきたい。	市内の他の公共施設と同様、普及のため設置できるか検討してまいります。	②
33	建物内だけでなく、屋外もいろいろな団体が借りることができるようにしてほしい。	駐車場利用者の車両動線が施設のそばにあることから、歩行者の安全を配慮しつつ検討してまいります。	②
34	全国的に市川が健康都市であることを満足させるために、道の駅にミニ健康増進センター（旧パティオ内）のような施設配置を希望する。	臨時的に開催するイベントの一例としてご意見を今後の参考とさせていただきます。	②
35	市民が頻繁に利用したくなる道の駅を目指し、参画事業者生産者等に新たな流通ルートの開拓と採算に資する。	生産者の流通ルートについては、関係機関と検討してまいります。	②
36	農家から直配で一部傷あり変形の梨を格安で販売する。		
37	「みんなで育てる」整備コンセプトは魅力はあるが、建築計画が伴っていない。ワークショップスペースや消費者とのコミュニケーションスペース、チャレンジショップスペースなど、フレキシブルに対応できる余剰スペースを盛り込む必要がある。	売店間の壁は可動式を予定しており、弾力的な運用が可能な計画としております。供用後の運用は今後の検討となります。	②
38	犬を手始めに全国初の動物にも優しい道の駅として、ドッグランや犬同伴可能なレストラン施設等を設置してほしい。	施設全体でのペット同伴は困難なことと考えますが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。	②
39	都心に一番近い、千葉の玄関口、ガーデニングサイトの3つを主眼に道の駅のオリジナリティを確保してほしい。	市川の立地や取組み、千葉県の広域の観光情報など、他地区の事例を参考に道の駅を通じて発信してまいります。	③
40	事故発生の予防と、発生時の対応はどのように考えているか。道路に直結した施設だからこそ、防犯・警備には万全の対応が必要。	地域振興施設と駐車場の間に屋外広場を設けることで、歩行空間と車両空間を分けられ安全の確保を図れるよう計画しています。	③

41	防犯対策を施設整備計画の中にしっかり組み込んでください。	地域振興施設と駐車場の間に屋外広場を設けることで、歩行空間と車両空間を分けられ安全の確保を図れるよう計画しています。	③
42	国分のイメージは下総の国府国分寺の地、調節池とのつながりは一体的整備による広がりのある景観だと思う。	歴史や文学などのいちかわの土地の縁や魅力を伝える地域資源も道の駅で紹介し関連施設との連携を図っていくことを考えており、今後、関係機関と協議・調整の上、詳細を検討してまいります。	②
43	外環建設で出た、出土品（丸木舟等）の展示や市内に多くある遺跡の紹介を道の駅でしてほしい。		③
44	外環工事で発見された埋蔵物などを道の駅で大きい写真にして展示すると良い。		③
45	市川市がなにを魅力として道の駅をアピールするのかわからない。		④
46	一般国道298号線の利用者がどんな目的で施設を利用するか、市が考えていることがわからない。	道の駅を整備することで、遠方からお見えの方にはトイレや食事の休息場所、物産や観光情報・交通情報等の提供を受けられる場所として立ち寄っていただけると期待しています。また、市内・近郊の方には地域特産品のPRや販売拠点、イベントの開催や地域間交流の活動場所としてご利用いただければと考えております。	④
47	建物全体を雨水利用と浸透貯留のモデルハウスのなものとして訪れた人にそのような施設を知ってもらうだけではなく、家づくりのヒントにしてもらいたい。	地域連携の形として、地域のイベント等を道の駅で開催し、地域の方のみならず市内・市外の方に参加していただくことも可能ではないかと考えます。ご意見は今後の参考とさせていただきます。	②
48	地域住民による施設の利用、道路利用者と地域住民の交流の具体的なイメージがわからない。地域との連携機能については目的も曖昧だと思う。		④
49	市川市の特産だけでは賄えないので、千葉県の特産を入れても良い。	千葉県の玄関口に立地する土地柄ですので、いちかわの魅力とともに千葉県の魅力も併せて発信していくよう検討してまいります。	②
50	情報発信機能にICTを活用し、最新のデジタルサイネージなどを備える必要があるのではないか。	情報を発信する方策の1つとしてご意見は今後の参考とさせていただきます。	②

(5) その他についての意見

No.	意見	市の考え方	意見への対応
51	市民生活の利便性を高めるため、道の駅にミニ市役所や診療所（内科・外科）の設置を希望する。	これまでのコンセプトとは違いますが、ご意見のような期待があることを参考に、事業を進めてまいりたいと思います。	②
52	クロロ、バララの着ぐるみをつくり、道の駅で会えるようにしてほしい。チーバくんや、ふなっしーにも来てもらうようにしてほしい。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	②
53	道の駅にチーバくん、クロロ、バララを起用した大きなモニュメントを設置する。		②
54	道の駅に置かれる商品等をユニークでこだわりがある流通にのらないようなものを置いてほしい。市民の力、協働を得て地産地消・地域活性・地域循環型の道の駅になってほしい。	道の駅で地域ブランドを生み、育て、アピールできる施設になるよう、ご意見を今後の参考とさせていただきます。	②
55	市川市ならではの立った特徴を有し、内外にその存在感を強烈に示す道の駅になってほしい。		
56	道の駅ではソーシャルメディアの活用を含め、情報発信場所として積極的にアピールをしてもらいたい。梨そのものはもちろん、6次産業化を推進する上で有効に活用できると思う。		
57	市が想定している運営費がどれくらいか知りたい。費用対効果の観点から利点があるか判断してほしい。	計画を深めるにあたりご意見のありました観点から今後検証してまいります。	②
58	地域住民が道の駅に来れば、食事・休息・買い物・交流・情報収集ができる場所になれば最高だと思う。	市内在住の方に限らず、生産者・販売者・購入者・催事の主催者・出演者など、「みんなで育てる」という整備コンセプトの通り、さまざまな関わり方で施設をご利用いただけるよう計画してまいります。	③
59	道の駅を運営実績のある仕掛け人に頼んだほうが良い。	現在、公設民営の施設とする方向で調整しております。施設の運用については今後検討を進めてまいります。	③
60	手作りパン工房&カフェを設置し、人気のパン屋さんに入ってもらえたら道の駅も大人気になると思う。		
61	道の駅事業を担当室のみならず関係部署の連携をもって対処されたい。	事業の推進にあたっては関係部署と連携を図ってまいります。	③
62	市役所の関係各部と地域の人や様々な団体が意見交換できる場を設置してほしい。		
63	外環道路開通より早い開設を望んでいる。	外環道路の開通に合わせて道の駅の開業を目指しております。	④

64	防犯、安全のため、道の駅と国分川調節池の近くに派出所を曾谷橋から移転すると良い。	ご意見は今後の参考とさせていただきます。	④
65	計画案の公開方法を工夫して、市民に対して丁寧な説明をして理解を得たうえで意見を集めるようにしてほしい。	本市の情報発信の方法に関して、ご指摘いただいたことを課題として努力してまいります。	④
66	道の駅の入り口に「水と緑のまち市川道の駅」の立看板（例、本庁舎にある看板）を建てる。	周辺に水とみどりの拠点、特に国分川調節池緑地との連携について、所管部署との調整を図ってまいります。	④
67	国分川沿いに「文学の道Ⅱ」、「万葉の詩Ⅱ」を掲示する。	市川の土地柄を知っていただけるような情報発信に努めてまいります。	④